

社協だより

No.144
令和2年3月1日
発行

はんど ♡ to はんど



ボランティア活動等の説明



浸水した家財道具の運び出しの様子



応援の寄せ書き



今号の話題

- ②～③ 特集
坂戸市災害ボランティアセンターの取組について
- ④ 自動販売機設置場所を提供して下さいますか
車椅子、障害者等移送車貸出事業
- ⑤ 令和元年度社協事業を振り返って
- ⑥ さかどふれあいサービス
おとなの知恵袋講座
- ⑦ 成年後見制度と社協が取組む法人後見
福祉サービス利用援助事業
- ⑧ 地域の福祉貢献に敬意を表して表彰状授与式
- ⑨ 出張心配ごと相談所、皆さんからの善意、広告
- ⑩～⑪ クリップボード
- ⑫ ふれあい・いきいきサロンNo.23



社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会

☎ 049-283-1597

FAX 049-289-3911

※電話・FAX番号を確認のうえおかけ間違いのないようご注意ください。

HP <http://sakadoshakyou.jp>

坂戸市社協

検索

第19号被害における ティアセンターの取組～



東坂戸団地内の様子



増水した高麗川の様子

東坂戸団地内においても、令和元年10月12日(土)午後5時30分に警戒レベル4「避難指示(緊急)」を発令。その後、13日(日)午前5時25分頃に越辺川右岸(川越市平塚新田地先

関東甲信地方や静岡県、新潟県、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨をもたらした台風第19号では、71河川140か所が決壊し、全半壊・一部半壊・床上・床下浸水等、被害にあつた住宅は8万5000棟以上にのぼりました。

台風第19号の被害により、14都県計390市町村に災害救助法が適用され、災害ボランティアセンターを設置した自治体は、最大で14都県の104か所となりました。

これは、12府県60か所に設置された平成30年7月の豪雨災害よりも広範囲におよび、さらには、東日本大震災における岩手・宮城・福島3県101か所で設置された災害ボランティアセンターの数をも上回っており、このことから、今回の台風第19号が例を見ない大規模な自然災害であったことがうかがえます。



浸水した住宅の家財道具を運び出す大学生



浸水した住宅の床下に貯まった水を排出する看護学生

の堤防が決壊していることが判明し、広範囲で冠水、各地区に浸水被害が発生しました。

坂戸市社会福祉協議会は、昭和52年10月の設立以来、40年余りの歴史がありますが、今回、初めて災害ボランティアセンターを設置しました。

活動期間は、令和元年10月14日から11月11日までで、荒天等による休止を挟みながら、1か月弱の間で活動を行いました。

台風第19号で災害ボランティアセンターを設置した県内の自治体は、川越市、東松山市、さいたま市、上尾市、人間市、小川町となっております。

坂戸市災害ボランティアセンター



特集

～令和元年度台風 坂戸市災害ボランティア

においては、開設期間中のべ778名の方にボランティア活動にご協力いただきました。

ボランティアの依頼については、災害ボランティアセンター開設期間中に浸水した家財道具の搬出や災害廃棄物の片付け等、126件の依頼がありました。

今回の台風被害によって、今後の起こりうる災害への備えなど、各家庭でも考える契機となっており、各家庭ですが、坂戸市社会福祉協議会としても災害への備えを準備する機会となりました。

1つめに、災害ボランティアセン



ボランティア活動をされた方々からの寄せ書き



ターの運営です。災害ボランティアセンターの円滑な運営をするためには、マンパワーが必要となります。今回の災害ボランティアセンター設置期間中には、埼玉県や県内の他市町の社会福祉協議会の職員が応援に駆けつけてくれましたが、広範囲で全国的な災害に見舞われた際など、早期対応ができないケースも想定されます。

また、職員が被災者になることも想定されますので、災害への備えの1つとして、市民の皆様と連携を図り、有事の際は災害ボランティアセンターの運営と一緒に担っていただくことが必要です。

2つめに、各関係機関との連携です。今回の台風第19号の被害の際に、安否確認がなかなか取れず苦慮したケースがありました。有事の際は、各関係機関との情報共有が必須です。豪雨災害、自然災害に備えていくとともに、有事の際を想定した訓練などを近隣社協などとも行っていきたいと考えております。

災害ボランティアセンター設置訓練開催のお知らせ

- 1 日時 令和2年3月7日(土) 午前10時～午後4時
- 2 場所 坂戸市ワークプラザ 3階 会議室(坂戸市石井2327-5)
- 3 内容
 - (1) 講義(午前) 台風第19号被害について
講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
事務局長 李 仁鉄 氏
 - (2) 演習(午後) 災害ボランティアセンターの役割・運営の基礎等について

※今回の訓練は、台風第19号の被災経験を踏まえ令和元年10月1日号に掲載した「第9弾被災地支援ボランティアin南相馬市」に代えて開催するものです。

地域福祉事業推進費還元型の

自動販売機設置場所を提供していただけますか？

企業・団体など



設置場所の提供
・会社の食堂や休憩所
・駐車場
・住宅の一角 他

坂戸市社会福祉協議会では、坂戸市内に地域福祉事業推進費還元型自動販売機を設置する事業を行っております。

この事業は、売上金の一部を本会が行う地域福祉事業の財源として活用をさせて頂いている事業です、設置費用や電気代等のご負担はありません。趣旨を御理解いただき、この自動販売機の設置場所の提供をご検討いただきますようお願いいたします。

坂戸市民



地域福祉事業
に活用

売上金の一部



坂戸市社協

地域福祉事業推進費還元型自動販売機設置状況 (敬称略)

設置場所 (19 台) ・鈴ヤ商事(株) (4台) ・大智寺 ・宗福寺 ・(有)原産業 ・(有)錦江資材
・神保様所有地 ・(有)安野自動車 ・誠光産業(有) ・デイサービス悠々 ・埼玉環境衛生(株)
・(株)アクティブ ・誠光産業(有)坂戸営業所 ・栗原東坂戸駐車場 ・坂戸市福祉センター

< 令和元年度新規設置場所 > ・(有)石田自動車整備工場 ・寶野様駐車場

売上本数合計 39,252 本

還元金額合計 704,277 円

平成 31 年 1 月～令和元年 12 月

車椅子貸出事業

ケガ、通院、旅行等で車椅子が必要になった方に、
最長 3 か月間車椅子の貸出しを行っています。



障害者等移送車貸出事業

車椅子を利用する方が社会参加の促進、日常生活の向上を図るため、病院や旅行など外出する際、車椅子に乗ったまま乗り込み可能な福祉車両（軽自動車）の貸出しを行っています。

利用方法

事前に利用登録が必要です。利用登録は無料ですが、走行距離に応じて燃料費を負担していただきます。原則として運転は、ご家族の方にお願いしています。

令和元年度社協事業を振り返って

6月7日 『ふれあい・いきいきサロン活動者研修会』



地域の「仲間づくり」の場となるサロン活動を支援するために、保健所の職員より「食品の衛生管理について」の話を聞き、活動者同士の情報交換を行いました。

8月 『夏！体験ボランティア』

今年は市内 21 の福祉施設等より 38 のプログラムを提供いただきました。

厳しい暑さにも負けず 291 名の方が参加してくれました。

盲導犬とふれあい教室や食育体験教室のほかに、新しく、綿花体験教室、アロマケア体験教室を行いました。



10月1日 『赤い羽根共同募金』スタート

市内の駅やマミーマートで、街頭募金を行いました。



10月14日 『坂戸市災害ボランティアセンター設置』

台風第 19 号の影響により、市内においても甚大な被害があり、復旧に向けてボランティア活動者の受入れのため、災害ボランティアセンターを設置しました。

また、「福祉であいの広場」が中止となり、同日に予定していた『夏休みポスターコンクール』表彰式は中止となりました。

なお、受賞者には、各学校から表彰状を渡していただきました。



8月20日 『福祉教育・ボランティア学習研修会』



坂戸市教育委員会との協働で、学校と地域をつなぐために、毎年開催している研修会です。教員、民生委員、地域ボランティアの方など 69

名が参加し、「見えにくい子供の貧困について」、講演やグループワークを通して共通理解を図りました。



11月7日・14日 『地域福祉カレッジ』



今年は「上手に老いる」をテーマに、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らし続けるために、ご自身の老後を見つめ直し、上手に老いるための終末医療などについて学びました。

9月1日 『災害ボランティアセンター設置訓練』



坂戸市総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンターの役割や流れの展示などを行いました。

おとなの知恵袋講座

美文字教室



美文字に挑戦

リンパマッサージ教室



リンパマッサージ

ポッチャ体験教室



パラリンピック競技を体験

自分史作り入門教室



思い出や経験を 1 枚に

協力会員さん
大募集!

さかどふれあいサービス

地域のみなさんの参加と協力による住民相互の支え合い活動です。
誰もが住み慣れた家や地域で、安心して自立した生活が送れるように応援しています。

協力会員の 活動内容

- 食事の支度・片付け ● 洗濯
 - そうじ ● 買い物 ● 話し相手
 - 外出の付き添い など
- ※身体介護は行いません。

実費弁償費
1時間 800円

新任協力会員研修会を実施します。

協力会員として、ご協力いただける方の募集を随時行っています。
安心して活動ができるよう活動開始前に研修を受けていただきます。

日時 4月14日(火) 10:00～12:00

会場 坂戸市福祉センター 会議室

対象 18歳以上の心身共に健康で地域福祉活動に理解のある方

参加費 無料

申込み 坂戸市社会福祉協議会 ☎ 283-1597

皆さんのご参加を
お待ちしております

おとなの知恵袋講座



美文字教室

冠婚葬祭などで自分の名前や住所を美しい字で書けるようになりたいと感じている方、美文字に挑戦してみませんか。

日時 4月23日(木)、5月14日(木)
14:00～16:00 <全2回>
※2回とも出席できる方

会場 坂戸市福祉センター 会議室

申込み 3月9日(月) 午前9時から
坂戸市社会福祉協議会で
電話にて受付します。
☎ 283-1597

参加費 500円
(教材費・筆ペン代)

講師 つきもり 築森氏

定員 25名(先着順)

対象 市内在住者、在勤者、
坂戸市福祉センター
利用者



ボッチャ体験教室

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック!!パラリンピックの正式種目になっているボッチャを体験してみませんか?



日時 5月26日(火)
14:00～15:30

場所 坂戸市福祉センター 会議室

講師 初級障がい者スポーツ指導員
宮崎 吉次氏

定員 12名(先着順)

申込み 3月9日(月) 午前9時から
坂戸市社会福祉協議会で電話にて
受付します。☎ 283-1597

脳活性化ゲーム「みつつのあ」 ～楽しいコミュニティ作り～

おなかの底から笑って、脳細胞が活性化!
脳のリハビリ、そして、脳の全身運動!頭と手を同時に働かせるように工夫された楽しいゲームをみんなで体験しましょう。サロンの運営にも役立つヒントがいっぱい♪

日時 6月17日(水)14:00～16:00

場所 坂戸市福祉センター 会議室

講師 みつつのあ研究所
代表 須田 正子氏

定員 30名(先着順)

参加費 200円(資料代)

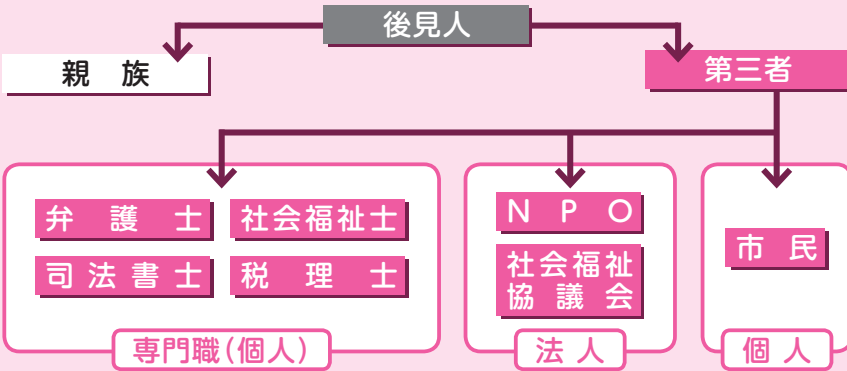
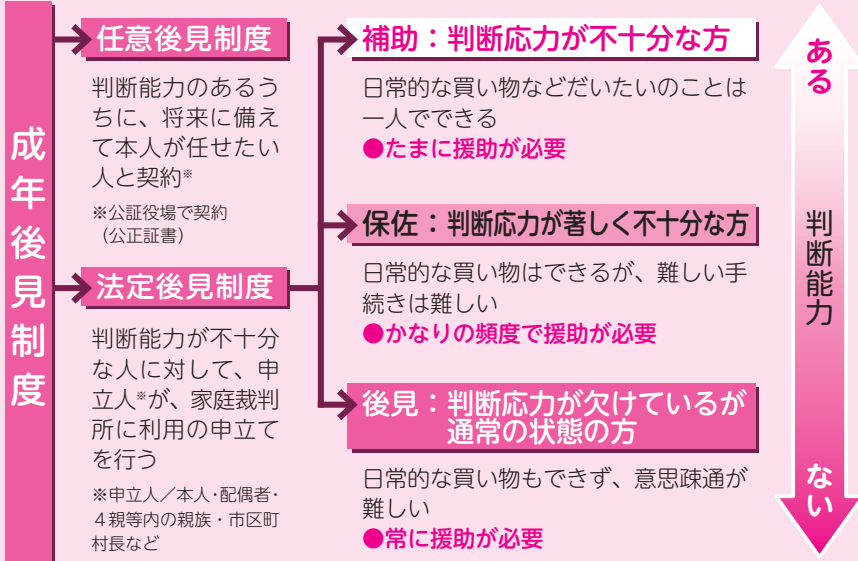
申込み 3月9日(月) 午前9時から
坂戸市社会福祉協議会で電話にて
受付します。☎ 283-1597



成年後見制度と社協が取り組む法人後見

成年後見制度は、介護保険法と同時に2000年に施行された制度です。認知症や知的障害・精神障害・高次脳機能障害などにより、お金の管理や福祉サービスの利用等の手続き・契約等が困難で、生活等に支障がある方が、安心して自分らしい暮らしを送るために、本人の意思を最大限尊重し、生活を支えていくための制度になります。

右の図のとおり、判断能力があるうちに将来に備え、信頼できる人と契約する任意後見制度と判断能力が既に不十分な方に対して申立人が家庭裁判所に利用手続をする法定後見制度があります。



成年後見制度の担い手となるのが後見人です。後見人には、配偶者や親族が行う親族後見人と第三者として弁護士、司法書士などの法律の専門職後見人、社会福祉士などの福祉の専門職が行う専門職の後見人、その他に社会福祉協議会やNPOなどのいわゆる法人後見、市民が個人で担う市民後見人が担い手として後見人を行っています。

詳しくは、坂戸市社会福祉協議会までお問い合わせください。☎283-1597

あんしん生活を支援する 福祉サービス利用援助事業

あんしんサポートねっと

判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などが安心して生活が送れるように、定期的にご自宅を訪問し、福祉サービスの利用の援助や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いをします(相談は無料ですが、利用料はかかります)。

社協職員(専門員)が、一緒にお手伝いの方を考えます。



このようなことでお困りではありませんか？

- ◆福祉サービスの利用のこと
利用方法が難しく、どう進めたら良いのかわからない。
- ◆日々の暮らしのこと
大切な郵便物が届いたけれども、どうしたら良いかわからない。
- ◆暮らしに必要なお金のこと
家賃や税金、光熱費の支払いを忘れてしまう。
- ◆大切な通帳や書類のこと
通帳や年金証書などを、どこにしまったかを忘れてしまう。

あんしんサポートねっとでは、このようなお手伝いをします。

- ◆福祉サービス利用援助
福祉サービスの内容や利用方法をご説明します。
- ◆日常生活上の手続き援助
郵便物を整理して、内容をご説明します。
- ◆日常的金銭管理
税金や公共料金等の支払い、預貯金の出し入れのお手伝いをします。
- ◆書類等預かりサービス
大切な書類をお預かりします。



ご相談は、坂戸市社会福祉協議会までお問い合わせください。☎283-1597

地域の福祉貢献に敬意を表して

令和元年度

表彰状授与式



2月7日(金)坂戸市福祉センターにおいて、多年にわたり社会福祉事業の進展に功績のあった方、福祉事業の推進に多額の金品等を寄附していただいた方々へ感謝の気持ちを込め、表彰が行われました。(敬称略)

有功表彰 本会役職員、評議員、福祉委員、委員会委員、心配ごと相談員、ボランティア活動者・団体で誠実に10年以上役職に精励した者。社会福祉事業に対し顕著な功績がある者。

個人 ・村田 イツコ (福祉委員)

善行表彰 社会福祉事業資金並びに共同募金、歳末たすけあい募金に多額の金品等を寄附した者。

団体

- ・ N E X U S 株式会社D'ステーション
- ・ 株式会社セレモア
- ・ 西入間遊技業防犯協力会
- ・ 坂戸ロータリークラブ
- ・ 坂戸キリスト教会
- ・ 坂戸ガス株式会社
- ・ 川越露商組合
- ・ 竹馬 & お客様一同
- ・ 坂戸民主商工会
- ・ 株式会社いるま野サービス
- ・ 株式会社ベルク
- ・ ふれあいダンス村
- ・ ケルヒャー ジャパン株式会社



第64回高知県出版文化賞を受賞

高知県出身で、坂戸市内にお住まいの山崎波浪氏が受賞されました。山崎氏は、50代で病気により失明してから、短歌の創作に力を注ぎ、現在は、日常の家事援助を受けながら、日々の生活の中で、全感覚・全神経を短歌に集約し「朝日歌壇」などに投稿しています。

平成28年にも同賞を受賞されており、今回は2度目の受賞となります。

高知県出版文化賞とは、高知県在住又は出身者による作品で、昨年県内で刊行された出版物などが対象となる、昭和31年に始まった高知県で最も歴史ある地方文化賞です。

受賞作品・・・歌集「未完」

題名は「日記にはみずからの死が残せない誰の日記も未完に終わる」の一首から



出張心配ごと相談所



少し心配なことがあるけれど…誰に相談してよいかわからない方、誰かに話を聞いてもらいたい方など、お気軽にご相談ください。

相談まで少しお待ちいただくこともありますが、予約せずに無料で相談できます。

※相談される方はどちらの会場でも相談をお受けします。

開設場所	開設時間	開設月			
		3月	4月	5月	6月
東坂戸団地(公団)集会所	午前9時30分~12時30分	3日(火)	7日(火)	26日(火)	2日(火)
坂戸市福祉センター	午前9時~12時	11日(水)	8日(水)	13日(水)	10日(水)
坂戸市文化施設オルモ	午前9時~12時	19日(木)	16日(木)	21日(木)	18日(木)
入西地域交流センター	午前9時~12時	27日(金)	24日(金)	22日(金)	26日(金)
大家公民館	午前9時~12時	9日(月)	13日(月)	11日(月)	8日(月)
西坂戸自治会館	午前9時~12時	18日(水)	15日(水)	20日(水)	17日(水)

皆さんからの善意 令和元年9月18日から令和2年2月17日まで(順不同・敬称略)

【現金の部】

株式会社いるま野サービス	¥129,350
鈴木美子	¥10,000
日本キリスト改革派坂戸教会	¥5,000
坂戸民主商工会	¥100,000
岩崎正吉	¥3,000
坂戸ロータリークラブ	¥500,000
J-POP バンド モン・フレール	¥15,330
坂本弁護士一家没後30年 愛とヒューマンの祈念コンサート	¥66,500
坂戸双葉山草会	¥4,500
浅羽野リズム健康体操クラブ	¥5,000
浅羽野中国健康体操クラブ	¥5,000
昭和42年3月入西小学校卒業生一同	¥24,244
連合埼玉川越・西入間地域協議会 議長 小笠原崇	¥20,000
坂戸ガス株式会社	¥120,000
坂戸キリスト教会 第42回市民チャリティクリスマス献金	¥105,595
坂戸市シルバー人材センター	¥15,000
ふれあいダンス村	¥30,000

多和目 武藤	¥5,000
岩手県人会 ゆかりの会	¥10,000
西坂戸山車保存会 武蔵城山はやし会	¥42,360
西入間遊技業防犯協力会	¥100,000
芳友そろばん塾 生徒一同	¥34,850
水害被災支援坂戸駅南 愛とヒューマンのコンサート	¥40,000
竹馬&お客様一同	¥26,599
ティラピア5	¥30,000
匿名(4件)	¥607,386

【物品の部】

ケルヒャー ジャパン株式会社	高圧洗浄機他
株式会社渋沢	クリスマスケーキ 25個
南魚沼市社会福祉協議会	米 300kg
匿名	米 10kg

【令和元年台風第15号千葉県災害義援金】

山口好江	¥10,000
北坂戸団地自治会	¥10,967

広告

どんなお葬儀をご希望ですか?

無料 事前相談 実施中

●安心しておまかせください●坂戸市日の出町11-13

かのと葬祭

☎0120-590-599 坂戸駅北口 徒歩4分

● ● ● 広告募集 ● ● ●

ご覧の「はんど to はんど」へ掲載する広告を募集しています。

- ◆掲載方法 年3回発行「はんど to はんど」へ掲載
- ◆掲載規格 縦50mm × 横90mm
- ◆掲載料金 1号につき 1区画 15,000円

※その他詳細は坂戸市社会福祉協議会 ☎283-1597 まで

令和2年度「ボランティア活動保険」の 加入手続きを!!

令和2年度のボランティア活動保険の加入手続きを開始しました。

この保険はボランティア活動中にケガをした場合の「障害保険」と第三者の身体や財物に損害を与えた場合に見舞金および賠償金を支払う「賠償責任保険」がセットになっています。

令和2年度はプランの見直しがあり、これまでの4プランから右記のとおり2プランになりました。

〈※被災地で活動する方は、天災・地震補償プランへの加入が必要です〉

保険期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日
(年度切り替えのため、令和元年度に加入している方も再度手続きが必要です)

加入できる方

ボランティア個人またはグループ

年間保険料

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
保険料	350円	500円



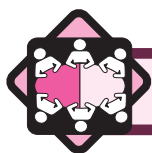
ボランティア募集

6 「坂戸拡大写本の会」会員募集

弱視の児童・生徒や高齢などで小さい文字の本が読みにくい方のために、その方の視力に合った大きな文字の拡大教科書・拡大図書をパソコンで制作するボランティアです。

活動日 毎週火曜日 10:00～12:00
場所 坂戸市福祉センター(石井2327-6)
条件 ①パソコンで文字入力可能な方
②OSがウィンドウズ8以降でマイクロソフトオフィス2010以降のパソコンを持参できる方

問合せ先 坂戸拡大写本の会
秋山 ☎090-3596-6405



ボラ・市民活動センターからのお知らせ

7 ボランティアサロン

毎月、第4木曜日はボランティアの日とし、ボランティア活動に関する相談を行っています。情報交換や仲間作りの場としてもご利用ください。

場所 坂戸市福祉センター
時間 10:00～12:00
問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

日にち	サロン内容
4月23日(木)	「紙しばいにも、春が来たー!」
5月28日(木)	拡大図書を作ってみよう!!

※3月はお休みです。

8 出張ボランティアサロン

市内の2か所で出張ボランティアサロンを開催しています。楽しくおしゃべりしながら、情報交換や仲間作りをしませんか?(出入り自由・無料)

問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

◆出張ボランティアサロン『北坂戸』

日時 3月18日(水)・4月15日(水)・
5月20日(水) 10:00～11:30
場所 東京電機大学にぎわいサロン
(溝端町1-4-106)

◆出張ボランティアサロン『ウエルシア鶴舞厚川店』

日時 3月25日(水)・4月22日(水)・
5月27日(水) 10:00～11:30
場所 ウエルシア鶴舞厚川店ウエルカフェ
(厚川58-4)

9 使用済み切手を集めています

消印が押ししてあり、紙がついたままの「使用済み切手」を回収しています。集まった使用済み切手は地域福祉推進のための事業資金として役立てられます。

市役所、各出張所、公民館、一部郵便局等に回収箱がありますのでご協力お願いいたします。

【広告】

すみよし

社会医療法人社団 新都市医療研究会(関越)会

介護老人保健施設 すみよし

理念

地域の利用者が自己能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を目指すために介護保険サービスを提供する。

〒350-2213 埼玉県坂戸市大字塚越769
TEL 049-288-3800(代表)

クリップボード CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・
さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597
FAX 289-3911



学ぶ

1 視覚障害者支援ボランティア講座 『盲導犬とふれあい体験』

視覚障害者への理解を深め、視覚障害者へのサポート方法や盲導犬についてみんなで一緒に学習しませんか。

- 日時 3月18日(水)
14:00～16:00
- 場所 坂戸市ワークプラザ
(石井 2327-5)
- 内容 ・視覚障害について
・視覚障害者の手引きについて
・盲導犬について
- 講師 坂戸市在住盲導犬ユーザー
井出茂樹氏
- 定員 50名(先着順)
- 参加費 無料
- 申込め切 3月13日(金)
- 申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597



盲導犬 Rond

2 アロマケア・ボランティア養成講座

アロマケアでボランティア活動をしていくために必要なことを学びます。学びながらボランティアをし、自分の日々のストレスも緩和される活動と一緒にしてみませんか？

- 日時 3月15日(日)
13:30～16:30
- 場所 勤労女性センター(千代田 1-1-22)
- 定員 20名
- 参加費 3,000円(アロマオイルお土産つき)
- 申込先 アロマケアチーム プチマイン
阿部 ☎ 090-8454-9196



交流・集う

3 “ダンディー'S～男の料理教室～”参加者募集

女子栄養大学 ECOS(エコス)では、50歳以上の男性を対象に、『手作りお弁当に挑戦』をテーマに料理教室を開催します。

- 日時 4月12日(日)、4月26日(日)
10:00～13:00

4 “スマイルレディー'Sキッチン”参加者募集

女子栄養大学 ECOS(エコス)では、50歳以上の女性を対象に、『ちょっと豪華なおもてなし定食』をテーマに料理教室を開催します。

- 日時 4月19日(日)、5月10日(日)
10:00～13:00

3 4 共通

- 場所 女子栄養大学 香友会館
(千代田 3-18-21)
- 定員 10名(2回とも参加できる方)
(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 1,600円(800円×2回)
- 持ち物 エプロン、三角巾、上履き
- 申込方法 住所・氏名・電話番号を明記の上、下記まで往復ハガキで申し込み
(応募め切 3月17日)
〒350-0288 坂戸市千代田 3-9-21
女子栄養大学 学生担当「エコス」宛て
- 問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597

5 朗読歳時記～心を豊かにする・ものがたり～

17回目になる朗読会です。文学作品の朗読を演奏と共に味わうひと時。今回もチェロの音色と共に皆様が共感を覚える数々の物語を楽しんでいただけたらと思います。

- 日時 5月21日(木) 13:00～15:40
- 場所 坂戸市文化施設オルモ(芦山町 1-2)
- 定員 70名
- チケット 600円(前売りのみ)
(3/5より安齋書店にて取扱い)
- 申込先 おはなしデパート
中島 ☎ 090-9018-6052

ふれあい・いきいきサロン

千代田三
ふれあい
サロン



このコーナーでは、市内で
取り組んでいるサロン活動を
ご紹介します。

千代田三ふれあいサロン

時間：午前10時～正午

開催日：毎週水曜日

場所：ウエルシア坂戸若葉
駅東口店又は、女子

栄養大学香友会館

参加費：150円

持ち物：マグカップ

若葉のウエルカフェで

「ウエルカフェ」は、ウエルシア薬局が地域の皆さんに「休息の場」「井戸端会議の場」そしてウエルシア薬局や行政などからの「情報発信の場」として



提供しているフリースペースです。坂戸市には6箇所の「ウエルカフェ」があり、地域住民が気軽に集まれる場所となっています。

そんな「ウエルカフェ」を利用して、地域の方々の交流の場となっている「千代田三ふれあいサロン」。そのサロンでは、千代田三丁目にお住まいの65才以上の方を対象として、元気に開催されています。

体操や脳トレをしたり、お茶を飲みながらゆっくりおしゃべりをしています。また、年に数回は、女子栄養大学香友会館2階の広々としたスペースをお借りしてゲームや制作をしたりして楽しんでいます。

保育園児がやってきました!

地域の保育園と交流をしているのもこのサロンの特徴の一つです。

近所の保育園の子どもたちが手をつないで、ウエルカフェへやってくると、サロン参加者もお店のお客さんもニコニコ笑顔で迎えます。

ウエルシアの店長さんも可愛らしい子どもたちのために「ようこそ」と看板を作ってくれました。

手遊びや紐を使った手品で子どもたちと楽しい時間を過ごすこと、子どもたちからは元気な歌声のプレゼントをもらいました。今回は保育園から招待されており、子どもたちとサロン参加者との多世代交流は継続的に行われているようです。



参加者の声

「13時間にも及ぶ手術をしたの。」と話すのは参加者の一人。千代田三ふれあいサロンに通っていたが入院してしまい、数ヶ月の間、参加できなかつたと話し出しました。「遠出はできないけど、ここは歩いてこられるから嬉しい。」と、笑顔で復帰報告をすると、「お帰りなさい。」と参加しているみなさんからも暖かい拍手が送られていました。

◇市内65歳以上の高齢者 29,544人 男 13,545人 女 15,999人 高齢化率 29.3% (2月1日現在)